


第3回報告

<p>テーマ</p>	<p>「こどもの人権」 ～DV家庭で育つ子ども～</p>	
<p>日時</p>	<p>平成28年10月28日（金曜日） 午後2時から午後4時まで</p>	
<p>場所</p>	<p>尼崎市立女性センター・トレピエ</p>	
<p>講師</p>	<p>NPO法人フェミニストカウンセリング神戸 岡本 明子 氏さん</p>	
<p>参加者</p>	<p>43名（内訳 登録者4人、市職員9人、市民他30人）</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>子どもたちが抱えるさまざまな問題の中で、DV家庭で母親が受ける影響や子どもが受ける影響などの話を通じて、支援の在り方や援助について考えるとともに、人権意識を高めることを目的に実施しました。</p>	
<p>実施内容</p>	<p>・講師による資料に基づいての講話</p> <p>講師から、まずDVの説明があった後、DVにさらされた子どもへの影響として、暴力・攻撃性を持ってしまうことや落ち着きのなさ、身体的には頭痛、腹痛等の症状（不定愁訴）になる場合があったり、非行、ひきこもり、不登校になる場合があり、また、母子関係へのさまざまな影響もあるなどのお話があった。被害者支援の対策として「DV防止法」の説明があり、国及び地方公共団体は被害者の保護、自立支援の責務を負うこと、基本計画の策定、配偶者暴力相談支援センターの設置等が義務付けられていること、また、保護命令として、加害者を住居から2か月退去させる「退去命令」、6か月の接近禁止する「接近禁止命令」などがあるとのお話がありました。</p>	
<p>参加者からの感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは漠然とDV家庭の子への影響を考えていましたが、個々の影響の大きさ、根の深さに驚きました。複合的に絡み合っている事が解り、自分にできることがあればやっていきたいと思いました。</li> <li>・DVについて、詳しい話をもっとたくさんの方が知れば良いと思いました。</li> <li>・大変聴きやすいお話でした。今後の仕事に活用できそうです。</li> </ul>	
<p>成果</p>	<p>参加者は、DVの意味や、子どもへの影響、母親への影響などのお話を聞く中で、DVについての理解と意識が向上したと思います。</p>	